

下田歌子研究所開所記念シンポジウム 「下田歌子と現代女子教育」

開会

湯浅—— みなさん、こんにちは。シンポジウムの開催にあたりましてご挨拶申し上げます。下田歌子研究所長の湯浅です。本年四月一日をもちまして、学園組織としての下田歌子研究所が開設いたしました。それを記念いたしまして、「下田歌子と現代女子教育」と題するシンポジウムを開催することになり、ご案内をさせていただきますましたところ、猛暑日にもかかわらず、このよう

にたくさんの方々にご参加いただきました。所長として心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

開催に際しまして、文部科学省から生涯学習政策局男女共同参画学習課課長でいらつしやいます藤江陽子様にご列席をいただくことになりました。また、基調報告では東京大学名誉教授竹内整一先生を、そしてパネリストとしてお茶の水女子大学長の羽入佐

和子先生、鎌倉女子大学学長の福井一光先生をお招きすることが叶いました。

ご存じのとおり、現在、女性の社会参加のありようがますます重要になってきており、女性の人材育成を使命とする教育機関のあり方が問われているところでもあります。このシンポジウムでは、この点から、「現代の女子教育がどうあるべきか」ということについて、会場の参加者のみなさまとも問題を共有しながら議論を深めていきたいと考えております。

最後になりますが、会場のみなさまにとりまして有意義なシンポジウムになりますことを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。(拍手)

伊藤—— 下田歌子研究所の伊藤由希子と申します。本日コーディネーターを務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日のご来賓でいらつしやいます文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課長の藤江陽子様からご挨拶をいただきますと思います。どうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

藤江—— みなさまこんにちは。ただいまご紹介いただきました文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課長をしております

藤江と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日のシンポジウムの開催にあたりまして、一言お祝いのご挨拶を申し述べさせていただきます。

はじめに、実践女子学園下田歌子研究所が本年四月に開所されましたことを心よりお祝い申し上げます。まことにおめでとうございます。そして、本日はその開所を記念して「下田歌子と現代女子教育」と題するシンポジウムが、この渋谷キャンパスにて、このように盛大に、お天気も大変よい中で開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、ご参加のみなさま方におかれましては、文部科学省のさまざまな取り組みに多大なるご支援ご協力をいただいていることに対し、この場をお借りして心から感謝を申し上げるとともに、男女共同参画社会の形成に向けてそれぞれのお立場でご尽力されていることに対し、心から敬意を表したいと存じます。

現在政府においては「女性の活躍推進」というものを成長戦略の中核に位置づけておりまして、男女が共に仕事と子育てを両立できる環境の整備ですとか、あるいは女性の積極的登用等によりまして、すべての女性が輝くことのできる社会づくりを目指しているところがございます。そのために文部科学省といたしましては、教育、あるいは学習といったものを通じて、女性が持つそれぞれの能力や可能性をいかに開花していただくかという支援をす

ることが大切であると考えているところでございます。このようにすべての女性が生き方に自信と誇りを持ち、持てる可能性を開花させていくためには、高等教育機関、そしてその中でも女子大学の人材育成の取り組みは極めて重要な意味を持っています。本日のシンポジウムでは、それぞれの特徴を持った三つの女子大学がおのおのの建学の精神ですとか教育の理念に基づきながら、現在そして未来に向けて、どのような女性の育成を考えているのかについて意見交換をされ、提言がなされると聞いておりまして、大変意義深いことと存じます。

また、このたび開所されましたこの実践女子学園下田歌子研究所の設立の趣旨、および事業計画には、男女共同参画社会の実現と女性のキャリア支援に関する活動が大きな柱のひとつになっているとかがついています。また、そのためにも外部の関係機関との連携を積極的に図っていくことが明記されており、複数の女子大学が連携して実施するというこのシンポジウムの開催はまさにこの趣旨にそったものであると思います。このシンポジウムを契機として、男女共同参画社会の実現に向けて、さらに連携の輪が大きく広がることを期待しております。

なお、蛇足と言いますか、私ごとにならぬと恐縮でございますが、私、ここから徒歩七、八分の所に住んでおりまして、地域住民の一人といたしましても、この地に男女共同参画、ある

いは女性のキャリア支援に関する拠点ができるということ、大変嬉しく思っております、ますますのご発展を期待しているところでございます。

最後になりますが、本シンポジウムが開催されるにあたりご尽力いただきました実践女子学園井原理事長をはじめとする多くの関係者のみなさま方、そして本日ご登壇のみなさま方にお礼を申し上げますとともに、このシンポジウムがみなさま方にとって意義大きいものとなり、下田歌子研究所が今後ますますご発展され、参加女子大学が今後さらに女子教育の成果を上げられますことを祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。（拍手）

伊藤——藤江様、ありがとうございます。

それでは早速、竹内先生の基調報告「下田歌子と現代女子教育」をうかがっていききたいと思います。竹内先生、どうぞよろしく願います。